

夢・未来 市長と語る

國島市長と中学生のまちづくり談義

市町村合併後、初めて行われた市長選挙で第10代高山市長として就任した國島芳明新市長。今号では、新市長の施政方針や高山市のまちづくりの課題などについて、*生徒会サミットで活躍する6人の市内中学生のみなさんと國島市長に意見を交わしていただきました。

市長 私はみなさんと同じように松倉中、斐太高校で生徒会長を経験しました。生徒会では、みんなのために自分は何ができるのかという思いで活動していけば、みんなついてきてくれるという自信を持ちました。そして今回、市民のみなさんのお役に立ちたいとの思いで立候補し、市長に選んでいただきました。今日はその意味で、若いみなさんの意見を市政に反映していきたいと考えていますので、率直なご意見を聞かせてください。

私の高山自慢 そして魅力

—では最初にみなさんから「私の高山自慢、魅力」についてお聞かせください。

橋本 僕は、四季がある自然、高山祭や古い町並、工芸などに代表される伝統、そして飛騨牛、中華そば、朴葉みそなど昔の人から受け継がれた独特の食文化などが高山の自慢だと思っています。

柴田 私は、たくさんの観光客が高山に来てくれることが自慢です。学校に来た海外の留学生たちに「高山っていいね」「きれいだね」「落ち着けるよ」と言われると、自分がほめられたようでとてもうれしくて自分も好きになります。世界中から愛される高山が好きで自

慢です。

竹腰 高山祭もそうですが、普段なかなか接点のない地域の大人の方と話せたり盛り上がったりで各町内の祭りなどの伝統行事も自慢です。

市長 いろいろな自慢や魅力を話していただきました。根底にある高山の魅力というのは、私は人の心であり、自然や文化、伝統行事を守り続けてきた心が高山の誇りだと思っています。みなさんも大事なものを守り育てる郷土を愛する気持ちを、大人になっても持ち続けてほしいと願っています。



*生徒会サミット

生徒会サミットは、平成17年度に高山市で全国中学校体育大会バスケットボール競技が開催された際に、大会の運営などに携わった生徒会連絡協議会を起源としています。当時、高山市合併を控えた13(現12)校の中学校の生徒会役員が集まり、全国各地の代表選手たちを迎えるため、応援旗作成、開会式の運営などを行い、同じ高山市の中学生としての心意気を示し、大会の成功に貢献しました。

その後も、平成18年度には小学校の生徒会役員と合同で「ストップ!いじめ宣言」を採択したり、「エコキャップ集め」を共通活動として行い、募金による社会貢献をしたりして、交流を通して、一体感のある活動を展開しています。

出席者

くにしま 芳明 市長

なんば 泰成さん(日枝中学校生徒会長)

しばた ゆき乃さん(松倉中学校生徒会副会長)

はしもと 峻さん(中山中学校生徒会長・生徒会サミット会長)

いわもと 萌さん(東山中学校生徒会副会長)

たけごし 和馬さん(清見中学校生徒会長)

いけだ 達さん(朝日中学校生徒会長)